

宮武幸久君の針葉樹会活動 1、山行

*****2018年6月21日投稿

●2011年（平成23年）

7.19 「三月会」初参加

*針葉樹会へのデビューで、この頃は「創立90周年事業」が話題に上がっていた

10.22～23 夜叉神峠西口登山道整備応援参加（詳細別添）

12.17 FN本科 倉見山～杓子山 竹中 本間 中村(雅) 宮武 藤原

藤原氏「杓子の山頂で、富士山を間近に見て、

彼が「近郊の山もいいね」と呟いたのを思い出す

*これが針葉樹会員との宮武さんの初山行です

●2012年（平成24年）

*前年の10.21から当年4.6まで、高谷山周辺の登山道整備の為8回
芦安を訪問。地元・官庁との打合・整備予定登山道の下見等を行った

6.16～17 高谷山周辺の登山道整備作業開始（詳細別添）

6.21 針葉樹会総会 山行幹事就任

6.22～23 高谷山周辺の登山道整備（詳細別添）

8.5～6 第1回 マーキュリーMt. 富士登山（詳細別添）

8.19 高谷山周辺の登山道整備（詳細別添）

10.21 高谷山周辺の登山道整備（詳細別添）

10.27 高谷山周辺の登山道整備（詳細別添）

●2013年（平成25年）

1.26 北高尾山稜・景信山 中村慎一郎君追悼山行打合せ

中村(雅) 宮武 藤原

5.12 アダージオ山行 大谷原 中村慎一郎君追悼山行

中村(雅) 俵 宮武 藤原 戸川 金子 西牟田 松尾

6.24 高鈴山・堅破山

中村(雅) 宮武 藤原 戸川

藤原氏「宮武・戸川と一緒に登った唯一の山」

10.18～20 第一次 廻り目平 OB 学生合同合宿

18 瑞垣山荘～金峯山 中村(雅) [学生] 長島 伊藤

同上 ～八丁平 本間 佐藤(久) 藤原(大日岩合流)

19 飯盛山 蛭川 宮武 [学生] 原 菊田

茂来山 本間 佐藤(久) 吉川 中村(雅)

廻り目平ボルダリング 藤原 [学生] 長島 伊藤
横尾山 山田ファミリー
夜、OB学生懇親会

20 雨天の為登山は中止。帰途に就く。

12. 1 富士ビュー山行 九鬼山
A班(菊花山経由) 佐藤(久) 佐薙 竹中 小島 中村(雅) 宮武
[学生] 原
B班(富士見平) 本間 仲田 三井 遠藤 宮本 三森 岡田
12. 8 FN短大 陣馬山～市道山
中村(雅) 藤原 宮武 (女性1名)

● 2014年(平成26年)

- 4.13 高谷山周辺の登山道整備 (詳細別添)
- 6.29 FN短大 大岳山(FN短大前期最後の山行)
中村(雅) 宮武 藤原 [学生] 西山 太田 上 大矢(女性)
7. 3~8 北海道シリーズ(その5) 羅臼岳・斜里岳・雌阿寒岳
佐薙 本間 小島 小野 佐藤(久) 岡田 宮武 (女性)
8. 4~ 5 第二次 廻り目平OB学生合同合宿 (藤原山荘)
4 黒富士・升形山 宮武 [学生] 高橋 西山 太田
5 金峰山 宮武 [学生] 高橋 西山 太田
- 8.24~25 第二回 マーキュリーMt. 富士登山 (詳細別添)
- 9.12~15 涸沢合宿 宮武 [学生] 太田 渡邊
- 12 国立発(宮武車)松本(食料調達)上高地～徳沢(テント)
13 徳沢～横尾～涸沢(テント)
14 涸沢～ザイテン～北穂高～南陵～涸沢
15 涸沢～ザイテン～奥穂高～キミコ平～重太郎新道～上高地
- 宮武氏「4日間共好天に恵まれ、北アルプスが初めての学生二人
はその展望に「日本にもこんな風景があるのか!」と感激。
一方涸沢岳から北穂高の稜線は崩壊が進んでいて気を締め て歩く。
ここだけでなく二日間は岩稜歩きの連続で非常に緊張し、上高地下
山時には三人ともホットした
- 9.28 FN短大 小仏城山 高尾山
佐薙 上原 塩川 竹中 本間 高崎(俊) 吉川 宮武 藤原
前神 松田 [学生] 太田 鈴木 黄
- 10.18~19 第三次 廻り目平 OB学生合同合宿 (藤原山荘)

18 茅が岳 宮武 [学生] 高橋 太田 黄
小川山 中村(雅) 本間 (見晴らし台)

19 金峰山 [学生] 高橋 太田 黄
四方原山 本間 中村(雅) 藤原 宮武

藤原氏「罨にかかった中村さんの靴から、スプーンひとつで20分
もかけて罨を外した彼の一生懸命な姿が思い出されます」

11.15～16 高谷山周辺の登山道整備 (詳細別添)

12.7 富士ビュー山行 笹子雁が腹摺山

佐藤 仲田 竹中 本間 小島 佐藤(久) 岡田 宮武

松尾 兵藤 松田 糟谷夫妻

[学生] 太田 辰川 岡田 内海

● 2015年 (平成27年)

1.24 部室外壁再塗装

前回(2010年)は金子さんと前神さんが手作業で行いましたが、今回は屋根から・・・の危険を避ける為足場を組んで塗装作業を行う事に。宮武さんと前神さんが中心となり、業者手配から針葉樹会の承認、メンバーを掻き集めた上で塗装作業を実施しました。OB学生が12名も参加、金子さんが岡山県矢掛町から深夜バスで駆けつける等ありましたが、やはりこの話が出てから半年チョットで実施したスピードとチームワークの良さは誇っても。

宮武 前神 中村(雅) 藤原 金子 西牟田 井草

[学生] 太田 西山 辰川 上 内海

2.28～3.1 強化合宿 雲取山 (アイゼン歩行訓練)

鴨沢登山口から往復 (雲取山荘泊)

宮武 中村(雅) 吉沢 小野 [学生]

太田

4.15 FN短大

(学生) 大倉～丹沢山往復

高橋 辰川 内海 (男性)・黄 太田 西山 大矢

(OB) 東野林道ゲート～蛭が岳往復

藤原 中村(雅) 宮武 (学生) 岡部

当初計画では蛭が岳ですれ違い、夫々東野ゲート・大倉を目指し国立で再会する、であった。しかし昼過ぎ雷雨が激しくなり、途中で引き返した。

*このコースを8人もの人数で歩けるだけの力、途中引き返した適切な判断

は一段と部に力が付いたと感じさせ、ここまで持って来た短大教授陣の努力を思い、イササカ詳しく記した次第。

5.17 FN短大 日の出山・御岳山

藤原 中村(雅) 佐藤(久) 宮武

[学生] 黄 山崎 太田 西山 有田 大矢 清野 曲

坂本 高 胡 体験希望者1名

藤原氏「現主将の坂本さん達新人12人が初めて参加した短大山行

です。鳩ノ巣の例の店(大橋屋)の2階で打ち上げをやりま

したが、新人の自己紹介の出身校に、宮武が、俺も立高出身

だとか、俺の子供も千葉高だとか終始上機嫌に反応していたのを思い

出します。」

5.23~24 谷川岳雪上歩行訓練

中村(雅) 宮武 前神

[学生] 太田 西山 原島

5.26 部室外壁丸太補修 業者手配・実施

中村氏「1月の塗装と今回は宮武さんの努力の結果。貢献度大です」

7.16~19 北海道シリーズ(その6) 十勝岳・富良野岳

佐薙 小島 小野 佐藤(久) 宮武 男性1名 女性ドクター1名

宮武氏記「十勝岳・富良野岳行」 針葉樹会報 134号

小島氏「北海道シリーズ知床から参加した宮武さんすっかり北海道の

虜になり、毎年「来年も」と率先して話すようになりました。」

8.20~21 第四次 廻り目平OB学生合同合宿

20 黒富士 宮武 [学生] 太田 工藤 (藤原山荘)

21 金峰山 宮武 [学生] 太田 工藤

8.22~23 日の出岳(大台ヶ原)・馬越峠・天狗倉山 クレージー会山行

小島 半場 佐藤(力) 小野 宮武

9.5~6 越後シリーズ 第9弾 妙高山

佐薙 小島 小野 岡田 吉沢 中村(雅) 宮武 加藤(博) 斎藤(誠)

10.6 天狗山・男山 中村(雅) 宮武 藤原 (藤原山荘)

10.7 中村慎一郎君慰霊 中村(雅) 宮武 藤原 松尾

松尾氏「ここ2年慰霊碑を探してきたが、工事等で地形も変わりで探し当てられず、

今年やっと発見できた。」

藤原氏「宮武が携帯を落とし、パニックになり、全く方向違い駆け

出したのが印象的でした」

11.7~8 高谷山周辺の登山道整備 (詳細別添)

12.6 富士ビュー山行 本社ヶ丸~清八山(宝鉦山跡経由)

佐薙 小島 佐藤(久) 中村(雅) 宮武

[学生]太田 上 大矢

● 2016年 (平成28年)

3.3 高松山 クレージイ会山行下見 本間 宮武

4.3 懇親山行 大山

A班 (金毘羅尾根) 佐藤(力) 佐藤(久) 岡田 吉沢 中村(雅) 山崎

[学生]内海 工藤 坂本

B班 (イタツミ尾根) 佐薙 鈴木 松尾 本間 小野 池知

宮武

C班 (下社周辺散策) 上原 仲田 D班 (反省会) 小島 高崎(俊)

*参加人数の多さも然ることながら、伊勢原駅前「GEN」で行った

反省会で有名な事件が！ 宮武さんも主役のひとりだった

佐藤久氏「二次会を終えた佐薙さん 松尾さん 仲田さん 本間さん 宮武さん 私の6人の内、泥酔して店の前でダウンした三人 (仲田 本間 宮武) をタクシーに押し込みました。その後、宮武は「仲田さんにタクシーで相模大野駅まで送ってもらった。」と言っていたが、仲田さんは「伊勢原駅でタクシーを降りた。」と言っています。どちらが正解かは永遠の謎です。」

4.19~20 塔 no の岳 昼から会山行 本間 岡田 宮武 男性2名

5.28~29 高谷山周辺の登山道整備 (詳細別添)

7.4~10 北海道シリーズ(その7) 幌尻岳・神威岳

小島 佐藤久 岡田 中村(雅) 宮武

宮武氏記「幌尻岳・神威岳行」 針葉樹会報 137号

佐藤久氏「札幌での打ち上げの際、小野さんの馴染みのカラオケバーで宮武が熱唱した「北の恋人」と「坊がつる賛歌」の迷調子ぶりが忘れられません。」

本間「大概のことはふたつ返事で引き受ける宮武さんが「山讃賦」の唱導役だけは固辞したワケが判った。」

10.21~23 越後・会津シリーズ 第10弾 博士山・志津倉山

佐薙 上原 本間 小島 小野 岡田 中村(雅) 宮武 加藤(博)

前神 佐藤(周) 斎藤(誠)

— 5 —

11.19 懇親山行 丹沢畦が丸

(中川温泉で高崎治郎さんの「偲ぶ会」を行った翌日の山行)

佐薙 仲田 竹中 本間 佐藤(久) 池知 岡田 中村(雅) 宮武

● 2017年 (平成29年)

2.18～19 雲取山（同行者不明 針葉樹会報138号 三月会記録）

5.14 谷川岳雪上歩行訓練（天神平）

宮武 佐藤(周) [学生] 9名（但し氏名公表せず）

宮武さんが山岳部・内海主将に送ったメールです。

「内海君 雪渓訓練お疲れ様でした。天神平なかなか適地だったと思います。今後も候補としていったらと思います。ところで7月10日針葉樹総会、そのための最終幹事会を6月6日如水会館で行ないます。別添の総会議事案の通り学生の活動実績と計画の報告があります。お忙しいと思いますが、作成の上出席の程よろしくお願いします。」

5.20～21 高谷山周辺登山道整備（詳細別添）

6.4～5 越後・会津シリーズ 守門山・浅草岳

佐薙 小島 小野 佐藤(久) 岡田 宮武 前神 加藤(博)

佐藤(周) 川名 太田

6.9 三四郎会 谷川岳（天神平～谷川岳 往復） 単独行

宮武氏記「谷川岳山行」 針葉樹会報 139号

9.4～6 北海道シリーズ 芦別岳・天塩岳

小島 小野 佐藤(久) 岡田 吉沢 中村(雅) 宮武 男性1名

宮武氏記「天塩岳」 針葉樹会報 140号

9.22～24 越後・会津シリーズ 第12弾 飯豊本山

佐藤(久) 岡田 宮武 前神 兵藤 佐藤(周) 斎藤(誠)

11.16～17 伊吹山 佐薙 佐藤(久) 宮武 佐藤(周)

11.18 関西針葉樹会懇親山行 六甲山

佐薙 佐藤(久) 宮武 兵藤 佐藤(周)（関西）浅田 神野 稲毛

12.10 富士ビュー山行 越前岳（愛鷹山）

佐薙 本間 小島 佐藤(久) 岡田（中村） 宮武 佐藤(周) 太田

*これが我々との最後の山行となり、2週間後に突然亡くなられた。

（享年 70才）

本間「山を下りてバス停で待っていた時、小生の喜寿に「私も古希なんですよ」と云うから、そりゃ結構、骨がコキコキ鳴るほど荷物を持ってもらうよ、と云ったのに。全く残念」

—6—

中村氏「それにしてもこの7年間、宮武君と共にした山行・行事参加が多く、先に逝かれたのが本当に残念です。」

小野氏「宮武君との出会いは2012年10月27日の芦安の登山道整備です。2014年4月13日と11月15日にもご一緒でした。

11月15日は不覚にも私は頭に怪我して何針か縫ったためお酒

は飲めませんでした。前2回はよく一緒に飲みました。たばこも吸うのでいつも同室でした。その時昭和43年卒で亡くなられた加藤さんの話題が必ず出ました。彼が札幌時代に私と楽しい思い出が沢山あった、と宮武さんになんども酔っ払って話したとのこと。私も若いときに加藤君と山に行ったりすすきので酒飲んだりとなつかしいおもいにひたりました。

そんな出会いもあり北海道シリーズには是非加えてほしいとのことで2014年から連続4年参加してくれました。昨年9月天塩岳登山が終了したときに「今年は暑寒別ですね」と念を押してくれました。2014年の羅臼岳、斜里岳、雌阿寒岳の100名山踏破シリーズの時は運転を一手に引き受けてくれました。交代するとの声にも大丈夫ですと応えてくれました。私は終始助手席でしたが安全確実な運転でした。

クレージ会の会合にも出てくれました。飲み会が多かったのですが2015年8月22、23日に大台ヶ原に行きました。小島、半場、佐藤力と私の4人についてくれました。年寄りの補佐をしてくれたのでしょう。感謝しています。2016年4月3日の有名な事件の時は幸いにも翌日札幌にもどるので早目に帰りました。参加してたらどうなっていたのでしょうか。」

本間「宮武さんとは会以外の個人的な山行が2回あります。「高松山」と「丹沢の源次郎尾根から塔の岳」です。

3回目「丹沢主脈縦走」をこの1月10～12日に計画、彼も参加の予定でした。下山ルートの確認に尊仏山荘の主人に現況を伺おうと、彼にも「12月23日 一緒にどう？」と声を掛けました。

ちょうどあの日です。

主脈縦走は予定通り行いました。山荘のご主人から一升瓶の差し入れも有り今日は盛り上がるなと感じつつ、この席に宮武さんが居ればなーとシミジミ思いました。そこで先ず竹中さんの発声で献杯しコースをスタートさせました。」

— 7 —

小島氏（針葉樹会会長・「創部90周年記念事業」実行委員長）

「富士登山関係

90周年の各プロジェクトで責任者決めるには可なり工夫しました。特に富士登山は、登山で体力が問題になるほかに、一般学生募集関係で学生指導・大学折衝等予想されて、一番若くて行動力があり、学生とも話せる宮武さんをお願いしました。成功は宮武リーダーのお蔭です。

登山道整備関係

最初の作業は芦安ファンクラブの西口登山道整備でした。ファンクラブの沢山の芦安の人々と時々雨の降る中で丸太を担ぎ上げ、急な所には階段を作りました。宮武さんは若さを発揮して丸太担ぎ上げ以外に、村の人達が苦勞していた崩壊場所に丸太橋を掛ける作業に参加、大きな木槌を使って活躍。地元の主婦たちの間で

ファンが出来ました。

宮武さんは、その後ほとんどの整備作業に参加しましたが、番線巻きの作業などは清水さんから最初に合格点を貰う器用さがあり、体力と誠実さが在って地元の皆さんからも大きな信頼を頂いていました。

(注) この表は、2018年1月 「針葉樹会懇親山行」記録・針葉樹会報と次の方々からの提供資料・コメント・サジェッションをもとに本間がまとめました。お忙しい処有難うございました。感謝申し上げます。

佐藤恭様(昭和31年卒) 上原利夫様(33年)
小島和人様(40年) 小野肇様(40年) 佐藤久尚様(41年)
中村雅明様(43年) 藤原朋信様(44年)

平成30年2月9日

本間浩